

私立大学図書館協会 2015 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時： 2016 年 2 月 23 日（火）14：00～17：00

場 所： 学習院大学 目白キャンパス 東 2 号館 7 階 法経図書センター会議室

出席者： 工藤晶子（学習院大学）、 坐間礼子（桜美林大学）、
齋藤道子（同志社大学）、 渡辺英二（中京大学）、
井口紀子（福岡大学）、 館田鶴子（委員長・慶應義塾大学）

会長校： 千葉信一、 布施賢治（東洋大学）

事務局： 吉沢亜季子（慶應義塾大学）

配布資料：

1. 2015 年度第 3 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2015 年度第 2 回常任幹事会報告関連
3. 2016 年度大学図書館職員短期研修の講師推薦
4. 『図書館年鑑 2015』への原稿
5. 寄贈資料搬送事業
6. 海外派遣研修
7. 海外認定研修
8. 今後の海外研修
9. 寄贈資料搬送事業の実施要領
10. 私立大学図書館協会研究大会での講演会
11. 英文ホームページの連絡先変更
12. 2014 年度国際シンポジウムの追加リンク
13. 事業費出納帳
14. 国際図書館協力委員会スケジュール

議事：

会議に先立ち、第 3 回国際図書館協力委員会議事要録の確認があった。（資料 1）

報告事項：

1. 2016 年度海外派遣研修再募集による申込締切日延長
当初の申込締切日までに応募者がいなかったため、イリノイ大学モートンソンセンターに確認し、年内までの申請でよいとの了解を得られたので、申込締切日を以下のとおり延長することとし、11 月 2 日に再募集の通知を行った。
申込締切日の延長：2015 年 10 月 30 日（金）→11 月 25 日（水）
2. 2015 年度第 2 回常任幹事会報告（資料 2）
12 月 4 日に福岡大学にて行われた第 2 回常任幹事会における、当委員会から提出した「報告事項」及び「今後の実施事業についての提案」についての報告があった。以下、2 点の改善案について特に異論はなかったが、今回提案する「海外認定研修」の「ALA・米国図書館研修」は費用約 40 万円に対して 10 万円の補助額では希望者の手があがりにくいのではないかとの意見がだされた。補助額については当委員会での検討に委ねられ、決まり次第広報活動に入ることが承認された。

承認された提案内容

- ・「海外集合研修」を中止し、それに代わるものとして、「海外認定研修」を拡大する。実施要領は「海外認定研修」に準ずるが、既存のプログラムと内容を異にする新たな企画を取り入れる。
- ・国際図書館協力シンポジウムに代えて「私立大学図書館協会総会・研究大会」で講演会を実施する。

3. 2016年度大学図書館職員短期研修の講師推薦（資料3）

主催機関である京都大学から講師推薦の問い合わせがあり、以下の通知を行った。
日程は、京都会場 2016年10月4日、東京会場 2016年11月29日の予定である。

派遣者： 早稲田大学図書館利用者支援課 藤順一氏
(2015年度海外派遣研修参加)

4. 『図書館年鑑 2015』への原稿提出（資料4）

JLA 国際交流事業委員会から原稿の依頼があり、「国際図書館協力委員会事業実施概要（2015年1月～12月）」を提出した。

5. 2015年度各事業進捗状況

(1) 寄贈資料搬送事業（資料5）

・後期 審査・採択決定

3件（国際大学、杏林大学、跡見学園女子大学）の申請があった。

国際大学：前期はセネガル（6回目）、今回はザンビアへの寄贈。（200冊10箱）

杏林大学：前期と同機関の台湾への寄贈（2回目）。（334冊30箱）

跡見学園女子大学：2014年度と同機関のキルギスへの寄贈（2回目）。

（317冊24箱）

いずれも、寄贈大学側の寄贈の意思に対して、寄贈先からの受贈の意思確認がとれていることから、第4回国際図書館協力委員会（メール会議）において採択することを決定した。3大学で¥370,928、会長校の処理により支払いは完了している。

・National library of Latvia からの日本語資料の依頼

2015年11月にラトビアの国立図書館 East Asia Research Section から、寄贈の依頼があった。日本の文化、風俗、歴史に関する図書を広く収集したいとのこと。

2016年度第1回寄贈搬送の案内と同時に、別の文書で寄贈の呼びかけを行う。

(2) 2016年度海外派遣研修（イリノイ大学モーテンソンセンター）（資料6）

応募者なし

・募集期間： 2015年8月20日～10月30日

・再募集期間：2015年11月2日～11月25日

・日程： 2016年5月25日～6月21日

（その後、ALA年次総会に参加可能。6月23日～28日、オーランドFL）

(3) 海外認定研修（資料7）

現在のところ応募者なし

・助成対象期間：2015年2月1日～2016年1月31日

・二次締切日：2016年2月29日（月）必着

→会議後の確認

2月29日に獨協大学から下記のとおり申請があり、第6回国際図書館協力委員会（メール会議）において採択となった。

申請者： 獨協大学図書館 高島豊氏

テーマ： ドイツ語圏の大学図書館の見学と調査 -

未来に向けた図書館の「場」としての役割

採択額： 5万円

尚、高島氏は2011年度と2014年度にも申請し採択となっている。採択校には、私立大学図書館協会から研修会等で発表の要請を行うことがある旨を伝えた。

審議事項：

1. 今後の海外研修について（資料8）

「2016年 海外認定研修」に、「ALA・米国図書館研修」（図書館総合展運営委員会企画）を取り入れることとし、募集の要領は次の通りとする。補助額については、2015年12月に行われた第2回常任幹事会での意見を受けて委員会で検討した。募集の内容は、3月4日の東西合同役員会で報告する。

（1）補助の額について

研修費の半額相当額とする。

※2016年度は20万円（旅行代金398,000円＋ALA1日参加費\$190の半額相当）

（2）補助額の支給時期

従来の海外認定研修と同様に、報告書の提出後に支給する。

（3）募集人数など

8名（2016年度の予算160万円）。応募者が8名を超えた場合は抽選で決定する。

（4）助成条件

- ・報告書の提出（本文2000字～4000字以内、図・表・写真も掲載可）。
- ・研修日程で自由参加となっている「ALAセッション」への参加。

（5）申込締切日

募集期間が短いため、図書館総合展運営委員会の申込締切日と同日にする。

（6）広報の方法

2種類に分けて広報を行う。

- ・海外派遣研修（A） 従来の海外認定研修
- ・海外派遣研修（B） ALA・米国図書館研修2016

（7）その他

- ・2016年度は「試行」という位置づけで行う。
- ・3回程度は継続し、評価と調整を繰り返しながらより良い研修のあり方を模索する。

2. 寄贈資料搬送事業の実施要領について（資料9）

2015年度第2回国際図書館協力委員会で、「実施要領に対象資料の特性（言語など）を明確に記すことについて、実施要領の一部改正が必要か」が課題となっていた。今期申し込みがあった6件（4大学）の採択においても、実施要領の審査基準に沿いつつもそれぞれの事情を個別に勘案する必要があった。資料の寄贈を社会貢献の一端と捉えれば、条件を狭めるよりも多少汎用性がある方が、寄贈の受け手、送り手双方の了解済みという大前提のもとで、状況に応じた判断を下せる、また実施要領も運用しやすい。したがって、現実施要領の改正は行わないことを確認した。

3. 国際図書館協力シンポジウムについて（資料10）

「私立大学図書館協会2016年度研究大会」において、国際図書館協力シンポジウムに代わる講演を開催することについて、企画の内容を次の通りとする。

（1）講演について

- ・招聘者：Toshie Marra (Librarian for Japanese Collection, C.V. Starr East Asian Library, University of California, Berkeley)
- ・テーマ：日本研究を支援する Japanese Librarian の仕事（仮題）
- ・日時：2016年8月26日 10:50～一時間程度 + 質疑応答10分程度
- ・場所：上智大学（四谷キャンパス）

（2）運営について

- ・研究大会での実施となるため、シンポジウム形式ではなく講演形式にする。
- ・講演会に関連する経費は、「国際図書館協力シンポジウム」の予算で支出する。
- ・招聘者との各種の調整は、当委員会で担う。

その他：

1. 英文ホームページの連絡先変更について（資料 1 1）
当委員会の連絡先が前々期のものとなっていたため、該当箇所の更新を行った。
<http://www.jaspul.org/english/kokusai-cilc/cilc-e/index.html>

2. ホームページへの 2014 年度国際シンポジウム講演記録掲載について（資料 1 2）
前委員長から講演記録掲載の依頼があり、該当箇所の更新を行った。
<http://www.jaspul.org/ind/committee/kokusai/symposium.html>

3. 国際図書館協力委員会「事業費」執行状況（資料 1 3）
現在の残金は、338,012 円。国際図書館協力特別会計（事業費）の中間決算会計処理について、会長校より 2 月 17 日締め、2 月 24 日提出との連絡を受けている。
海外認定研修の締切日 (2/29) を待ち、決算報告書を作成し提出する。

4. 今後のスケジュールについて（資料 1 4）
次回の会議は 5 月中旬以降に、同志社大学（予定）にて行う。

以上